

みちのくだより 青森

八戸発祥の地「根城」について

(株)コサカ技研
山田 憲男

青森県八戸市は、青森県の南東部に位置し、三菱製紙、東京鉄鋼、太平洋金属、高周波鋳造、三菱レイヨン、エプソン・アトミックス等の工場も立地して工業都市としてのほかに、以前は漁獲量日本一にもなった漁港もあり前沖で捕れる、イカ、さんま、サバは市民の食卓を彩る他に関東方面にも出荷され好評を博しております。

特に、サバは船で捕って急速冷凍した「船凍さば」として販売されております。また、油の載った550g以上の大きめの旬のサバを、銀サバとしてブランド化も進めております。

このような、元気な街、「八戸」の基を築いたのは、建武元年(1334)にこの地に根城を築城した南部師行公なんぶしぎょうでございます。当時は現在の青森県全域と、岩手県、秋田県の一部も治めておりました。師行公は延元3年(1338)5月22日に北畠顕家と共に泉州石津(堺市)において足利尊氏と激戦の末戦死されました。

その後、根城は後を継いだ政長はじめ子孫により守られ、約300年間一度も落城することなく、寛永4年(1627)遠野への領地替えまで続きました。

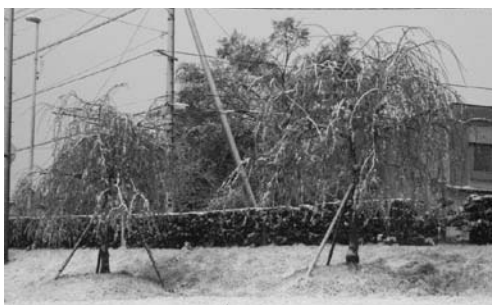
根城は、最初の築城から16回大規模な立替が行われており、復元された城は16期(安土桃山時代)のものを対象に行われております。

根城の特徴として、日本でも数少ない中世の城で、平成18年には、財団法人日本城郭協会より日本百名城に認定されております。

現在の根城は、復元された主殿と共に、公園として整備され、芝生の手入れも行き届いて多くの市民がジョギングや散歩に利用しております。(本丸は有料:大人250円、高・大生150円、小・中生50円、ほかに20名以上の団体割引あり。本丸以外は無料)



復元された主殿↑



ある年のシダレ桜↑

4月の末にはシダレザクラ約200本が咲き乱れる様子は一見の価値があり、毎年「さくらまつり」には県内外からのお客様で大変な賑わいとなります。

5月22日の師行公の命日には、根城記念祭が行われ市長はじめ、根城史跡保存会の会員が師行公を偲びます。

10月の第一土曜日には、「根城まつり」が開催され、師行公始め歴代の殿様も行ってたであろう護摩炊き、郷土芸能、小中学生による吹奏楽等が出演して多くの根城ファンで一杯となります。

2月の「えんぶり」の時期には、主殿をバックにえんぶり撮影会も開催され遠くは関西方面からお出で頂いております。

行事の詳細は、「八戸観光コンベンション協会」のホームページの「根城の広場」にございますので、是非一度は足を運んで頂いて直接ご覧いただきたいと思っております。お待ちしております。

みちのくだより 山形

「温泉王国」山形



(株) 高田地研
佐藤 美紀

私の勤務している(株)高田地研は山形県のほぼ中央に位置する寒河江市にあります。寒河江市は、ブナの森林が豊富な月山、そこに蓄えられた水が流れ込む寒河江川があり、とても景観豊かな所です。

山形県は、「庄内地域」・「最上地域」・「村山地域」・「置賜地域」の4つの地域からなり、人の横顔の様な形です。地域によって言葉や風習は違いますが、共通しているところもあります。



県内35市町村すべての地域に温泉が湧き出す『温泉王国』です。旅館が建ち並ぶ温泉街や、秘湯、公共温泉など個性豊かな温泉がたくさんあります。最近では、街の中に足湯も増え井戸端会議や観光客のちょっとした憩いの場になっています。足だけ浸かっただけでも体がポカポカ温まります。

山形県といえば『蔵王温泉』があります。温泉街に入ると硫黄の匂いがたちこめていて、温泉に来たと鼻で感じます。流れている川も“湯の花”で白くなっています。

私は子供の頃、夏になると必ず汗疹ができていました。汗疹が出来ると連れて行かれたのが蔵王温泉です。強酸性の硫黄温泉で傷等があるとピリピリしますが、「汗疹が治るなら!」と思いながら我慢し

て入っていました。入った後は、温泉の効能のおかげで痒みもなくなり治りが早かったような気がします。社会人になってからは、夏になると涼しさを求め蔵王のお釜に行ったり、冬は蔵王スキー場でスノーボードを楽しんだ帰りに立ち寄って汗を流して帰ってきたりしています。最近知ったのですが、肌を白くなめらかにする“姫の湯”“美白の湯”としても人気が高いそうです。

私の好きな温泉街の1つに尾花沢市の『銀山温泉』があります。その名の通り、昔の銀山鉱のあとに開けた温泉街で湯治場として賑わっていたそうです。銀山川を挟んで両岸に大正ロマン漂う伝統的な建築物が建てられていて、タイムスリップしたかのような気分になる素敵な場所です。この風景は、よく旅番組にも取り上げられ、見たことのある方が多いと思いますが、一度自分の目で見ることをおすすめします。温泉街もあまり広くないので、散策コースを利用して滝を見たり、銀山の廃坑を見て回り、川のせせらぎを眺めながら足湯につかるのもいいです。私はまだ見たことがないのですが、夜にはガス灯がともし、オレンジ色の光に照らされる温泉街も雰囲気があるんだそうですよ。

山形県には、温泉や観光地、そして美味しい食べ物もたくさんあります。おそばを食べて、温泉に入って日頃の疲れを癒しにいらしてみたいはいかがでしょうか。



蔵王のお釜



銀山温泉街